



学校教育目標

～挑戦・発信・錬磨～

- 主体的に考え、伝える力と課題を解決する力を高める。【知】
- 人を思いやり、自分や周りを大切に作る心を育てる。【徳】
- 様々なふれあいを通し、豊かな心と体を鍛える。【体・関】
- 社会の一員として、広い視野に立ったものの見方や考え方を身に付ける。【公・開】

育成を目指す資質・能力

- 自己肯定感・協働・挑戦する気持ち（「学びに向かう力、人間性等」）
- 課題解決力・発信力・コミュニケーション力（「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」）

小気味よき 寒さとなりぬ 年の暮 ～星野立子～

校長 内田克弥

12月を迎え、朝夕の寒さも身にしみるものになってきました。コロナ禍3年目のこの令和4年も残りわずかになりました。皆様にとって、この1年はどのような年であったでしょうか。

今年は、コロナ禍ではありましたが、感染防止対策を十分に施した上で、制限付きではありましたが、学校行事も今のところすべて予定通り行うことができました。生徒の皆さんや保護者の皆様からも「行事ができて、本当によかった」というご意見をたくさんいただいております。今年は、コロナ禍での新たな一歩を踏み出すことができた1年であったと思います。

また、「ほけんだより」でもお伝えしたように、横浜市教育委員会から出されている「横浜市立学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル」が一部改訂され、登校時の健康観察票のチェックをなくす、登下校時や運動時のマスク着用は不要、となりました。学校の活動による感染拡大を招かないように、手洗い、換気、3密の回避といった基本的な感染症対策を徹底し教育活動を継続して行っていくことは変わりませんが、少しずつではありますが、脱コロナに向けて、動き出していることは確かです。そうは言いながら、神奈川県においてもまだまだ感染者数は多く、気を抜くことができない状況が続いています。また、インフルエンザやウイルス性胃腸炎の流行も心配されています。学校でも継続的に感染防止対策を行っていきませんが、ご家庭でもお子様の健康管理にご留意ください。

さて、3年生は、進路希望先を決める保護者面談を終え、それぞれ自分自身の定めた目標に向けて、ラストスパートに入っています。先週、私立高校の推薦入試を希望する生徒の皆さんと面接を行いました。生徒たちにとって、初めての本格的な面接。校長を前にして、皆本当に緊張しており、また面接練習を始めたばかりなので、正直、うまく受け答えができていた生徒はあまりいませんでした。しかし、高校卒業後の進路について質問したところ、ほとんどの生徒が、自分の希望する職業、または進みたい道について、答えてくれました。幼いころ「将来は〇〇になりたい」と無邪気に口にしていた子どもたちも、自我が目覚める青年前期になり、自分自身を知ることで、夢をあきらめ、「将来なんて考えていない」と口にするようになります。実際自分の将来について、考えが及ばない生徒が多く存在します。しかし、そのような中、面接をした生徒が自分の将来について、目標をもっていることがとても素晴らしいことだと思いました。そして、その夢がかなうよう、応援したいな、とも思いました。

3年生の皆さんの将来に向けてがんばろうという姿に接し、自分自身も力をいただきました。そして、自分も負けないようにしなければ、と1年の終わりに改めて思いました。

来年令和5年こそ、コロナ禍が終わりを告げ、生徒たち、保護者の皆様、地域の皆様、そして本校教職員にとって、素晴らしい1年になることを願っています。



11月華道部作品

がん教育—がんを正しく知る—

1月1日(火)の6時間目に体育館で総合的な学習の時間として、2年生対象の「がん教育」を行いました。昨年度はコロナ禍のため、実施できませんでしたが、南希望が丘中学校では、2018年度より、2年生を対象に「がん教育」を行っています。

—昨年度もお越しくださったがんを患い闘病経験のある長谷川一男さんを今回も講師としてお招きし、前半は長谷川さんから「がんについての正しい知識」について、長谷川さんの経験を踏まえてのお話をいただき、後半は、がん患者の家族の立場を経験した校長より、経験談がありました。そして、最後に今回の話を聴いての感想などを周囲の生徒同士で共有をして終わりました。

中学2年生は、保健体育の時間に「がんとその予防」について学習はしているものの、がんに対する知識にはばらつきがあり、がんは「怖い」「痛い」「治らない」というイメージが先行し、がんに対する正しい知識を持っている人が少ないのが現実としてあります。現在は、日本人の2人に1人が、がんになる時代です。子どもたちにはぜひとも「がん」に対する正しい知識を持ってほしいと思うとともに、がん患者の方と共に、幸せに暮らしやすい社会を築いてほしいとも思います。そのために今回はそのよいきっかけになったのではないかと思います。



以下、今回の授業を受けての生徒の振り返りを紹介します。

- ・がんは身近な病気なんだと感じました。
- ・周りの人ががんの人はいないけど、いたらいつも通り接したいと思いました。
- ・日頃から検診に行ったらよいのだと思いました。そして1日1日を大切にしたいと思いました。
- ・校長先生の話聞いて、中2の娘さんが号泣していたと言っていたが、今の私たちの頃にそんな辛い思いをしていたんだなと思いました。
- ・保健体育だけでは聞くことのできない実際の声を聞くことができよかったです。
- ・自分も大人になったら検診に行こうと思った。親にも勧めようと思った。
- ・知らないとパニックになってしまうかもしれないから、今から知っておこうと思う。
- ・友だちががんになっても、いつも通り接していきたい。
- ・私の祖父もがんなので、長谷川さんと校長先生のお話はとても共感しました。
- ・2人うち1人がなると聞いて、他人事ではないなと感じました。
- ・私の祖母はがんでした。闘病中にしてあげられることがもっとあったのだろうと考えると悲しくなった。
- ・どんな病気なのか知ることができて、意識を高めることができてよかったです。
- ・自分も「元がん患者の家族」だった。
- ・校長先生のお話で亡くなったとき娘は中2でしたと聞いて、もし自分の親が亡くなったらと考えると辛いと思った。
- ・早期発見、早期治療がキーワードだと思った。
- ・話を聞いて胸が痛くなる時がありましたが、向き合う分、どんどん怖さが薄れたように感じました。
- ・健康に生活をしていても、かかることを知った。生きていることを大事にしようと思った。
- ・正しい知識をもち、予防することが大切だと思った。
- ・いま家族ががんなので、とても身近なことだと思って聞きました。
- ・がんは怖いと思っていたけど、話を聞いて重症化は減らせると思いました。

赤い羽根共同募金 一生徒会役員の呼びかけでー

今年度も11月21日(月)から25日(金)まで、朝8時15分から8時30分の一階昇降口付近で、生徒会役員の人たちが、赤い羽根共同募金を行いました。

朝早くからの生徒会役員の人たちの呼びかけに対して、多くの生徒の皆さんがそれに応えるように募金をしていました。

募金総額については、12月1日(木)の朝会で、生徒会の役員の人から発表されました。生徒の皆さんのご協力もあり、募金総額は、7,893円でした。さっそく赤い羽根共同募金の事業所へ送りました。

また、朝会では、募金総額の発表だけでなく、赤い羽根共同募金に関するクイズが行われました。そのクイズを紹介します。

第一問、赤い羽根共同募金のシンボルキャラクターは次のうちどれでしょう？

- ①コバトン ②ふなっしー ③愛ちゃんと希望君 (正答は③)

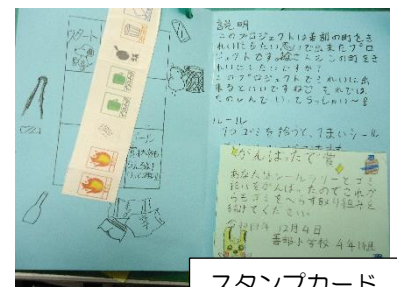
第二問、今年度赤い羽根共同募金のキックオフイベントに参加しPR活動をしている俳優は次のうち誰でしょう？

- ①大河ドラマ「鎌倉殿の13人」に出演している柿澤勇人さん
②マイカーリースでおなじみ桜井日奈子さん
③ニンテンドースイッチでおなじみ新垣結衣さん (正解は、①の柿澤勇人さん)

第三問、次のうち赤い羽根共同募金の使い道であるのはどれでしょう？

- ①子どもたちが安心して過ごせる居場所づくり
②障害のある人やお年寄りの施設への寄付
③一人で暮らすお年寄りへの援助 (正解は全部)

共同募金がとても身近に感じられる取組だったと思います。



スタンプカード

希望が丘南地区グリーン活動 ～地域行事への参加～

12月4日(日)に希望が丘南地区第22回クリーン活動が開催されました。

当日は善部小学校に集合し、いくつかのコースに分かれて、ゴミ拾い等の清掃活動を行いました。

南希望が丘中学校からは、女子バレーボール部他ボランティアの生徒が多数参加しました。また、今年度は開始前に善部小4年生の皆さんから、このクリーン活動のために作られたスタンプカードが配布され、カードを首にぶらさげながらの清掃になりました。

清掃活動の後は、今年度も各自記念品をいただきました。

この活動を通して、地域の方との交流が深まり、自分たちの住む町への関心を高めてもらえるといいな、と思います。



10月31日(月)から11月22日(火)まで神奈川県立神奈川近代文学館よりパネルをお借りして、職員室前、学校図書館で「太宰治展」を開催しました。今回展示したパネルは、近代文学館で実際に「太宰治展」を行ったときに展示したものをパネルに再構成したもので、「パネル文学展」として、学校に貸し出しているものです。

国語の教科書にも記載されている「走れメロス」の作者である太宰治さんの生涯を、作品などを通して紹介したパネルはとても見やすく、また分かりやすいものでした。この文学展にはワークシートが用意されており、全学年国語の授業の中で、パネルを見ながらワークシートに取り組んでいました。

スクールカウンセラーによる“相談日”のご案内

☆日時：

12月21日(水) 9時～17時	1月25日(水) 9時～17時
1月11日(水) 9時～17時	2月 1日(水) 9時～17時
1月18日(水) 9時～17時	2月 8日(水) 9時～17時

☆場所：南希望が丘中学校 相談室（B棟2階）



◎スクールカウンセラー(SSW) 来校日 12月19日(月) 全日

相談を希望される方は、生徒指導専任教諭の田中、または副校長までご連絡ください

12月、1月、2月の主な行事

12/22(木) 大掃除	2/ 3(金) 3年生学年末試験(5教科)
12/23(金) 2学期終業式	2/10(金)～私立高校一般入試
12/24(土)～1/9(月) 冬休み	2年生進路説明会
1/10(火) 3学期始業式	2/14(火)～公立高校共通選抜学力検査・面接
1/13(金) 常任委員会	2/16(木) 1, 2年生学年末試験
1/20(金) 学校保健委員会活動発表	英・理・数・音
1/26(木) 2年生鎌倉遠足	2/17(金) 1, 2年生学年末試験
1年生職業講話	国・社・保体

*新型コロナウイルス感染症の感染状況によって変更になる可能性があります。

頑張っています南希中生 (敬称略)

美術部 学級

第33回市立中学校新聞コンクール 学校新聞の部 佳作「南希タイムズ1号」美術部新聞班
学級新聞の部 努力「南希図書新聞」 図書委員会
学級壁新聞の部 佳作「あさぎいろ新聞」2年3組3班
佳作「山紫水明」 1年4組泊班

卓球部

旭区中学校秋季卓球大会 1年生の部 男子個人戦 第3位 大内祐人(1-2)

バドミントン部

旭区中学校2年生バドミントン大会 男子シングルス 第5位 多田祐己(2-1)
小林圭太(2-4)

旭区中学校冬季バドミントン大会 男子シングルス 第3位 多田祐己(2-1)市大会出場
男子ダブルス 第3位 市川悠人(2-5)小林圭太(2-4)

陸上競技部

横浜市立中学校総合体育大会陸上競技の部 女子低学年4×100mリレー 第7位
1走柏原ひまり(2-1) 2走笹川紘希(1-4) 3走坂本千夏子(1-2) 4走岡田華穂(2-3)
横浜市立中学校秋季陸上競技大会 女子2年走幅跳 第5位 柏原ひまり(2-1)
男子2年砲丸投 第6位 中井颯真(2-2)

サッカー部

旭区中学校サッカー大会 第3位

体育優秀生徒 飯島叶望(3-1) 但野裕英(3-1)

・冬季休業中、12月28日(水)から1月4日(水)の間は学校閉庁日となります。緊急の場合は、12月28日(水)、1月4日(水)は横浜市教育委員会西部学校教育事務所336-3743へご連絡ください。なお、12月29日(木)から1月3日(火)については、教育事務所が休所のため、1月4日(水)にご連絡ください。またおお客様の新型コロナウイルス感染症の陽性反応判明については、年内は12月27日(火)まで、年明けは1月5日(木)以降に学校までご連絡ください。